

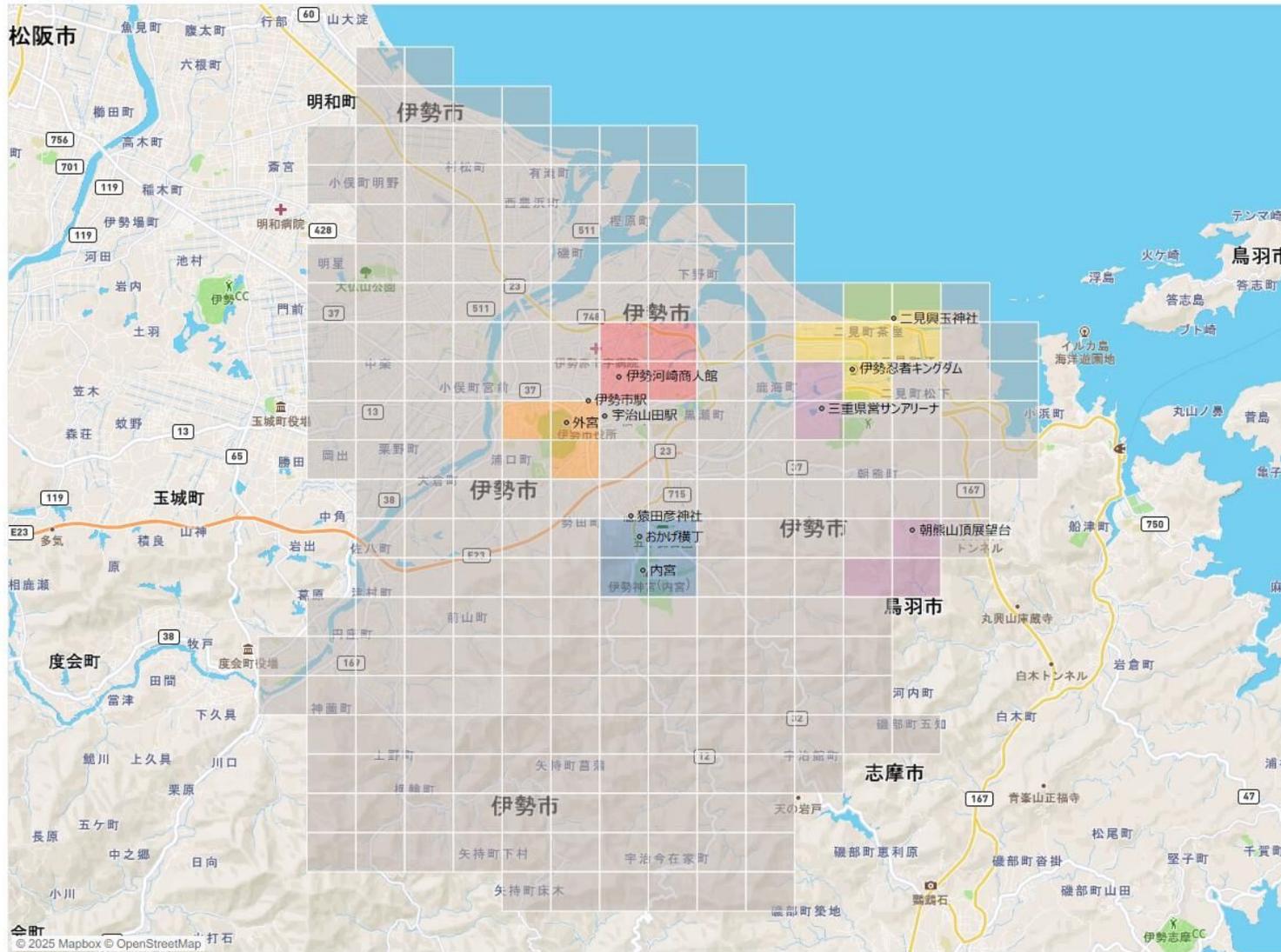
第2回伊勢市観光振興基本計画推進委員会 資料①②について インバウンド調査結果(速報値)報告(資料①)、聞き取り調査の項目検討(資料②)

令和7(2025)年9月12日(金)

資料①インバウンド調査結果(速報値)報告

- 対象地域
 - 伊勢市
- 対象期間
 - 1年間 2024年 季節単位
 - 春:2024.3~2024.5、夏:2024.6~2024.8、秋:2024.9~2024.11、冬:2024.12~2025.2
 - 季節は気象庁の定義に基づく。春(3~5月)/夏(6~8月)/秋(9~11月)/冬(12~翌2月)
- 時間帯
 - 全日(0時~24時)※旅行客数 | 夜(2時~5時)※宿泊客数 | 日帰り(全日客数-宿泊客数=日帰り客数)
- 分析内容
 - 定量分析
 - 伊勢市全域について、各時間帯に、2時間以上滞在した人数
 - 分布分析
 - 伊勢市の各1kmメッシュについて、各時間帯に、1時間以上滞在した人数
- 属性
 - 訪日外国人:総数、国・地域
- 集計方法
 - 期間ユニーク:期間中同一訪問者が同一エリアで何度確認されても「1」とカウントする
- サンプル数
 - 101,833 ※サンプル数は100以下の国もあわせての数となります。

(参考)モバイル空間統計 調査エリア



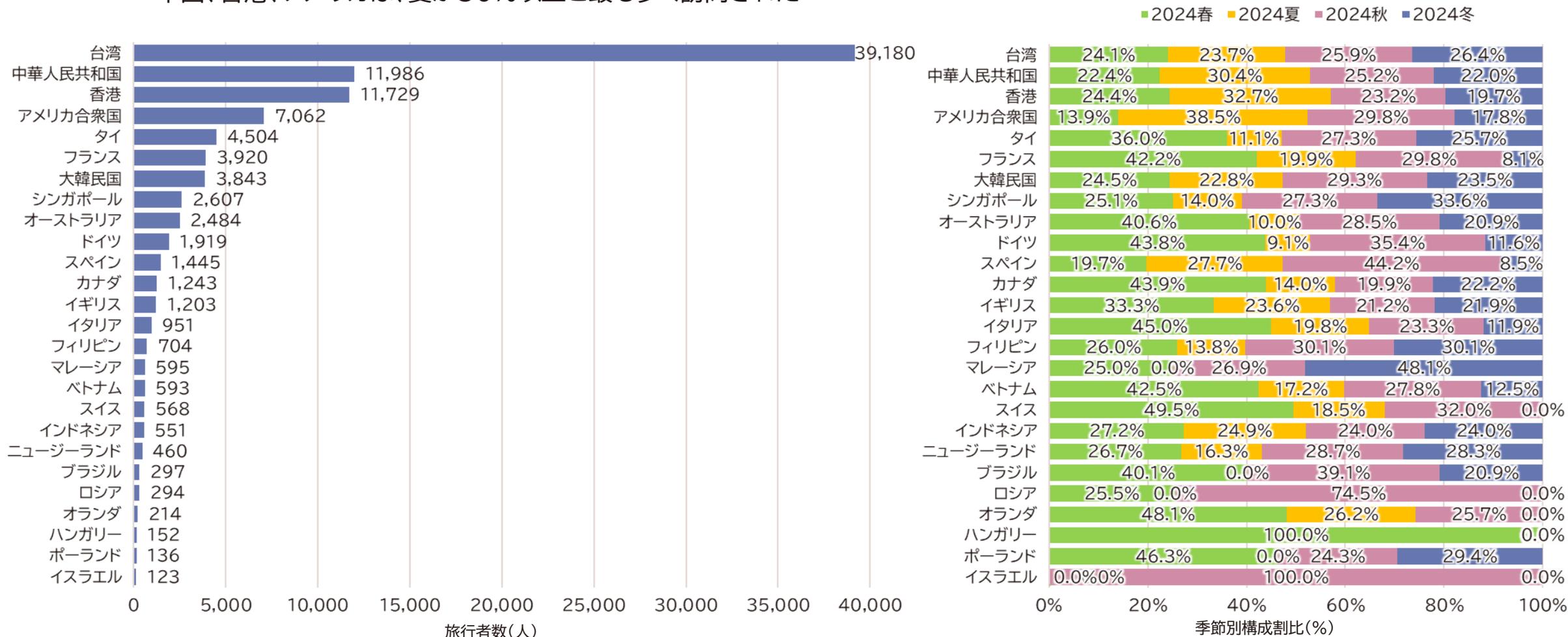
- 内宮
- 外宮
- 河崎
- 二見
- 朝熊

| メッシュコード | エリア |
|----------|-----|
| 51365557 | 内宮 |
| 51365558 | 内宮 |
| 51365547 | 内宮 |
| 51365548 | 内宮 |
| 51365585 | 外宮 |
| 51365586 | 外宮 |
| 51365576 | 外宮 |
| 51366507 | 河崎 |
| 51366508 | 河崎 |
| 51365597 | 河崎 |
| 51365598 | 河崎 |
| 51366601 | 二見 |
| 51366602 | 二見 |
| 51366603 | 二見 |
| 51366612 | 二見 |
| 51366613 | 二見 |
| 51365692 | 二見 |
| 51365691 | 朝熊 |
| 51365681 | 朝熊 |
| 51365642 | 朝熊 |
| 51365643 | 朝熊 |
| 51365653 | 朝熊 |

調査結果 伊勢市を訪れるインバウンドの国別旅行者数(総数)



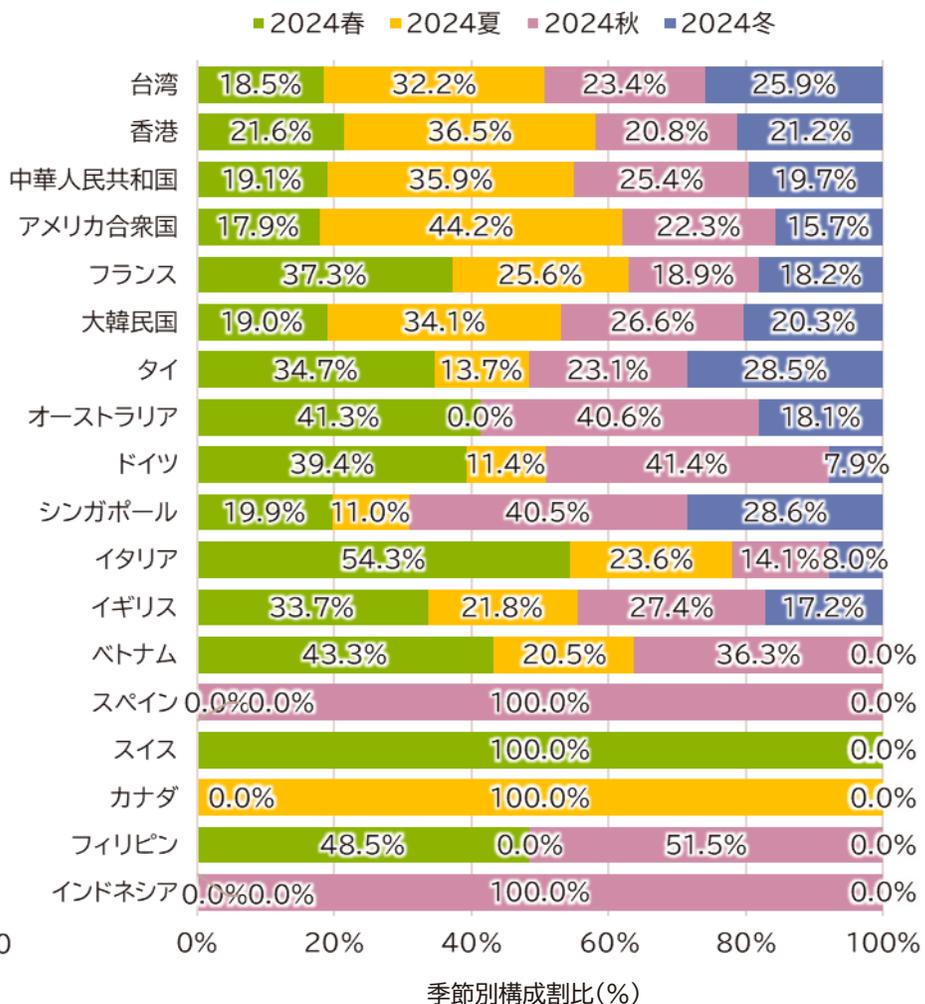
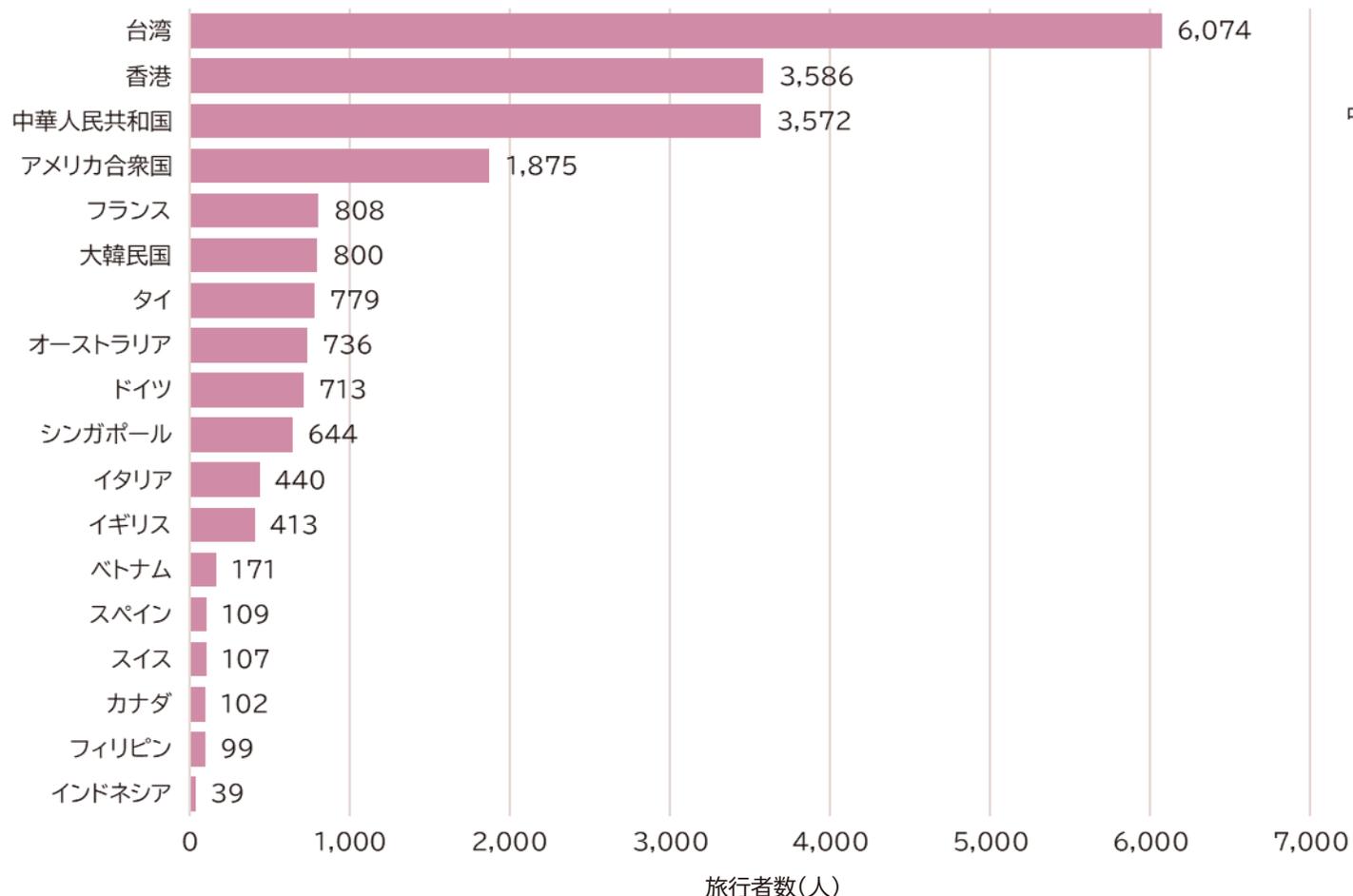
- 台湾が約3.9万人と最も多く、2位の中国(約1.2万人)、3位の香港(約1.2万人)の3倍以上であった
- 台湾は季節構成比がいずれも24~26%ほどで、どの季節も満遍なく訪問された
- 中国、香港、アメリカは、夏が30%以上と最も多く訪問された



調査結果 伊勢市を訪れるインバウンドの国別旅行者数(宿泊)



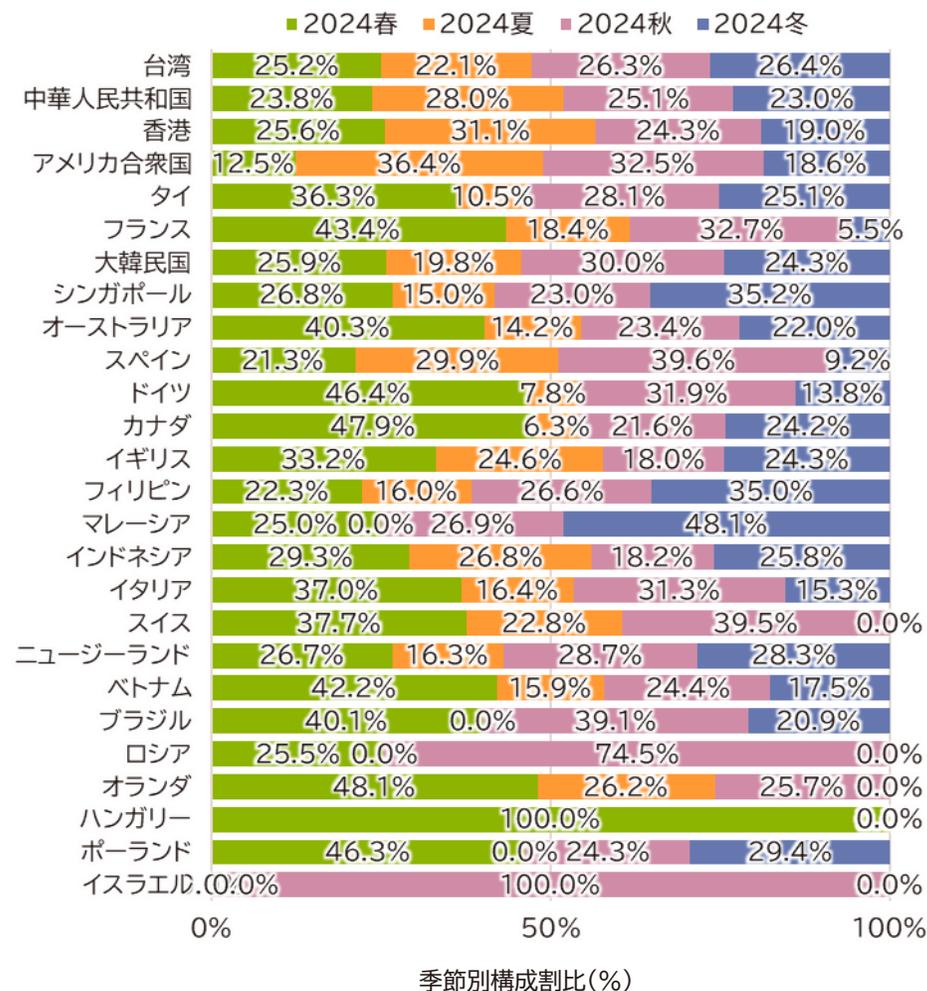
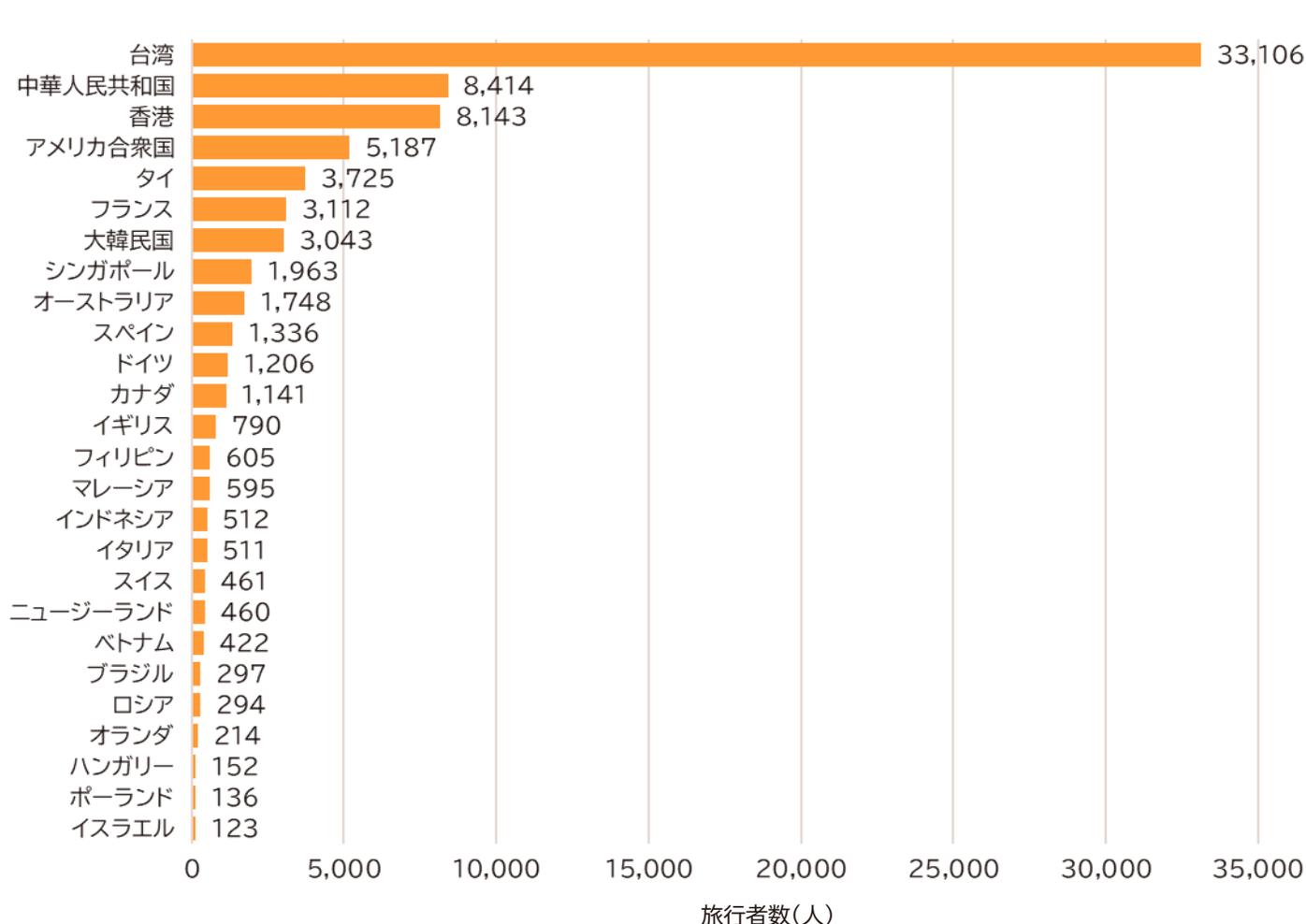
- 台湾が約6千人と最も多く、2位の香港と3位の中国は約3.6千人であった
- 季節構成比は、1位から4位はいずれも夏が32~44%ほどで最も多かった
- 5位のフランスは、春が約37%と最も多かった



調査結果 伊勢市を訪れるインバウンドの国別旅行者数(日帰り)

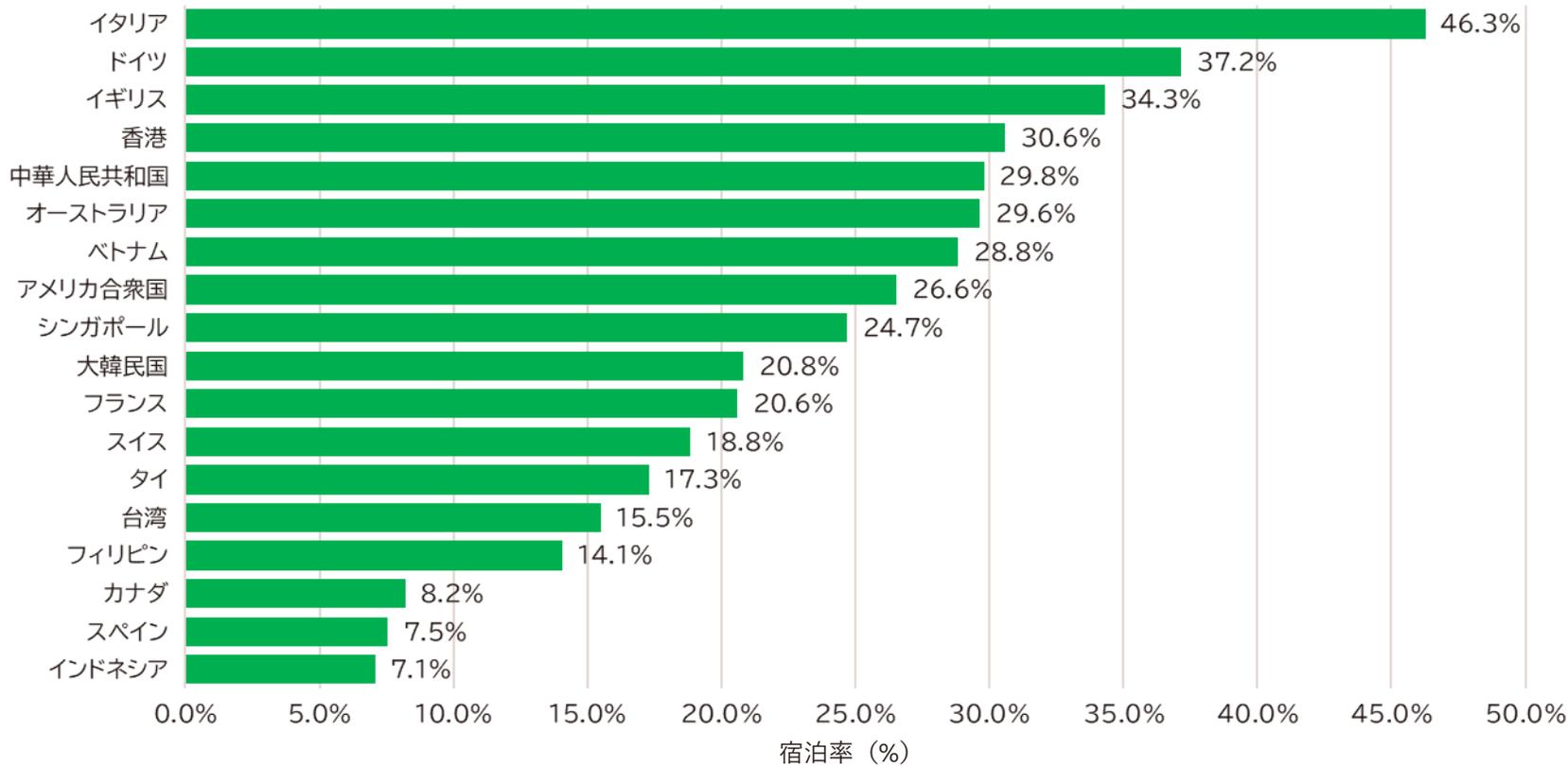


- 台湾が約3.3万人と最も多く、2位の中国と3位の香港が約8千人であった
- 国の順位と季節構成比は、旅行客数と概ね同じ傾向であった



調査結果 伊勢市を訪れるインバウンドの国別宿泊率

- ・ イタリアが46.3%と最も高く、上位3か国はヨーロッパの国が占めた
- ・ 旅行者数では最も多かった台湾だが、宿泊率で見ると14位と下位となった
- ・ 一方で来訪者数で2位、3位であった中国と香港は、宿泊率でも上位であった

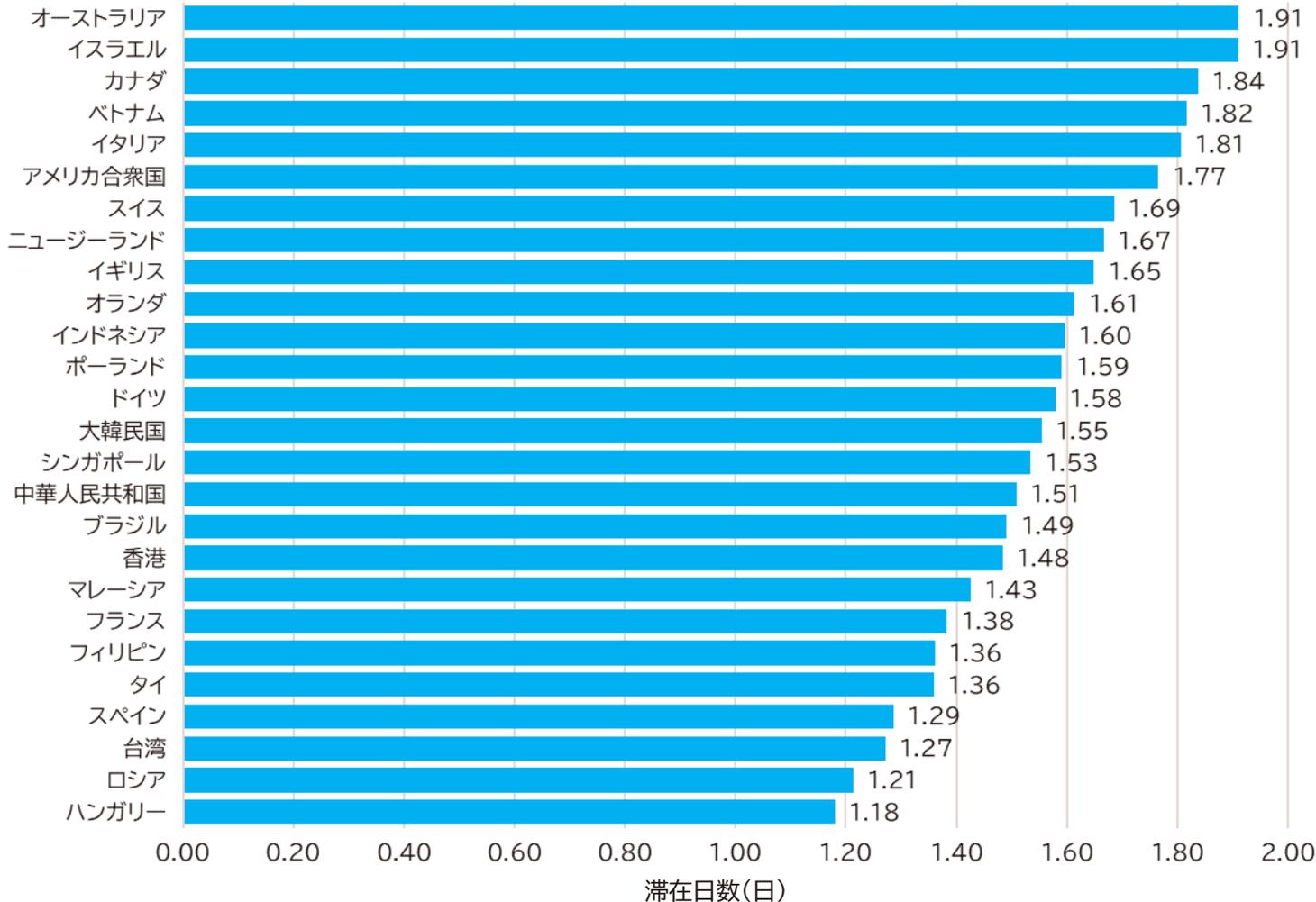


| | 2024春 | 2024夏 | 2024秋 | 2024冬 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| イタリア | 55.8% | 55.3% | 27.9% | 31.0% |
| ドイツ | 33.4% | 46.3% | 43.4% | 25.1% |
| イギリス | 34.7% | 31.7% | 44.3% | 27.0% |
| 香港 | 27.0% | 34.1% | 27.3% | 33.0% |
| 中華人民共和国 | 25.3% | 35.2% | 30.0% | 26.6% |
| オーストラリア | 30.1% | 0.0% | 42.2% | 25.7% |
| ベトナム | 29.4% | 34.3% | 37.6% | 0.0% |
| アメリカ合衆国 | 34.1% | 30.5% | 19.9% | 23.4% |
| シンガポール | 19.6% | 19.5% | 36.6% | 21.0% |
| 大韓民国 | 16.2% | 31.2% | 18.9% | 18.0% |
| フランス | 18.2% | 26.6% | 13.1% | 46.2% |
| スイス | 38.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| タイ | 16.7% | 21.4% | 14.7% | 19.2% |
| 台湾 | 11.9% | 21.1% | 14.0% | 15.3% |
| フィリピン | 26.2% | 0.0% | 24.1% | 0.0% |
| カナダ | 0.0% | 58.6% | 0.0% | 0.0% |
| スペイン | 0.0% | 0.0% | 17.1% | 0.0% |
| インドネシア | 0.0% | 0.0% | 29.5% | 0.0% |

調査結果 インバウンドの国別平均滞在日数



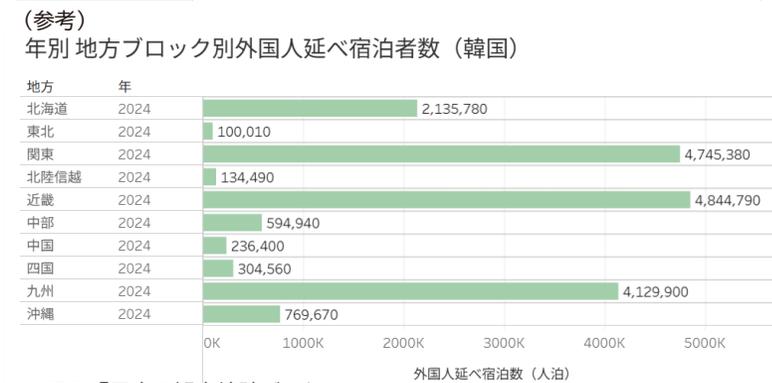
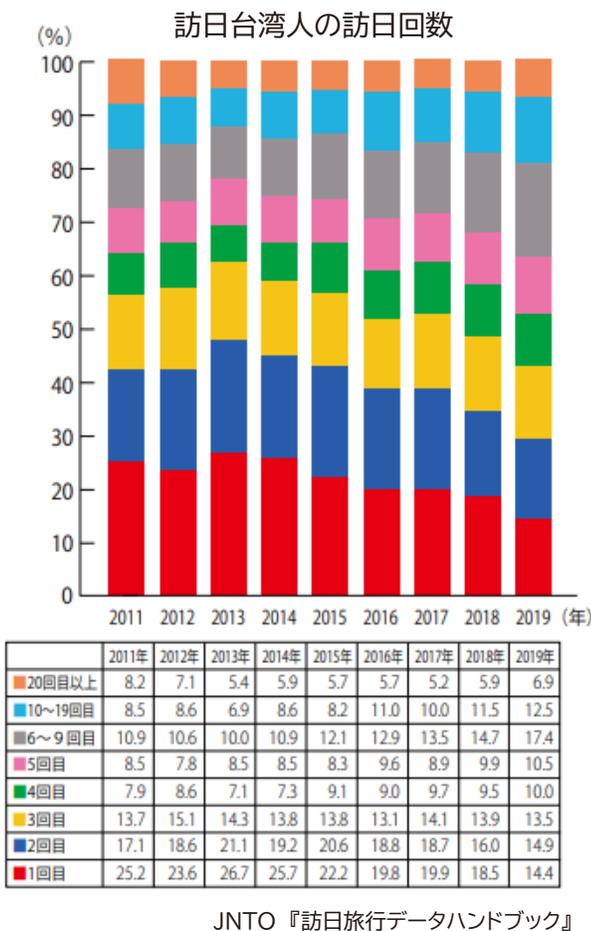
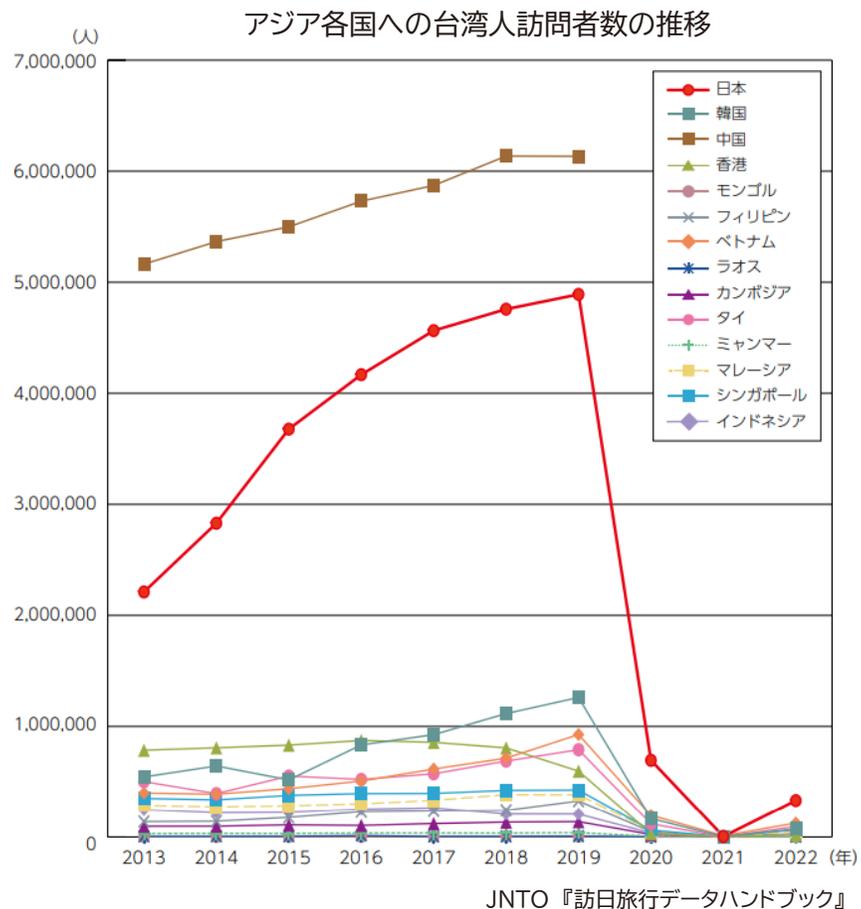
- ・ オーストラリアとイスラエルが1.91日で最も平均滞在日数が長かった
- ・ 来訪者数の上位5か国の中ではアメリカが最も滞在日数が長かった



| | 2024春 | 2024夏 | 2024秋 | 2024冬 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| オーストラリア | 1.52 | 1.35 | 2.06 | 2.74 |
| イスラエル | | | 1.91 | |
| カナダ | 1.60 | 4.43 | 1.28 | 1.17 |
| ベトナム | 1.46 | 2.18 | 2.24 | 1.59 |
| イタリア | 1.65 | 1.42 | 1.60 | 3.44 |
| アメリカ合衆国 | 1.37 | 2.12 | 1.76 | 1.32 |
| スイス | 1.62 | 1.73 | 1.76 | |
| ニュージーランド | 1.64 | 1.75 | 1.83 | 1.48 |
| イギリス | 1.59 | 1.60 | 1.67 | 1.77 |
| オランダ | 1.74 | 1.70 | 1.29 | |
| インドネシア | 1.49 | 2.33 | 1.33 | 1.22 |
| ポーランド | 1.24 | | 2.09 | 1.73 |
| ドイツ | 1.57 | 1.47 | 1.72 | 1.27 |
| 大韓民国 | 1.24 | 2.33 | 1.37 | 1.36 |
| シンガポール | 1.46 | 1.33 | 1.75 | 1.50 |
| 中華人民共和国 | 1.48 | 1.53 | 1.47 | 1.55 |
| ブラジル | 1.53 | | 1.29 | 1.79 |
| 香港 | 1.51 | 1.55 | 1.40 | 1.44 |
| マレーシア | 1.26 | | 1.77 | 1.32 |
| フランス | 1.47 | 1.41 | 1.23 | 1.42 |
| フィリピン | 1.53 | 1.72 | 1.33 | 1.08 |
| タイ | 1.33 | 1.48 | 1.30 | 1.41 |
| スペイン | 1.20 | 1.45 | 1.22 | 1.30 |
| 台湾 | 1.20 | 1.40 | 1.22 | 1.27 |
| ロシア | 1.08 | | 1.26 | |
| ハンガリー | 1.18 | | | |

(参考)台湾からの来訪者が多い要因についての考察

台湾では日本が海外旅行の主要目的地となっており、日本に何度も来たことがあるリピーターが多い。そのため、ゴールデンルート以外も訪問する人が多く、その結果伊勢市にも足を運ぶ人の数が多くなっていると推察される。また、訪日客の上位2位を占める中国と韓国は、ゴールデンルート以外への来訪は少ない傾向があり、相対的に台湾からの来訪者の割合が高くなっている可能性がある。



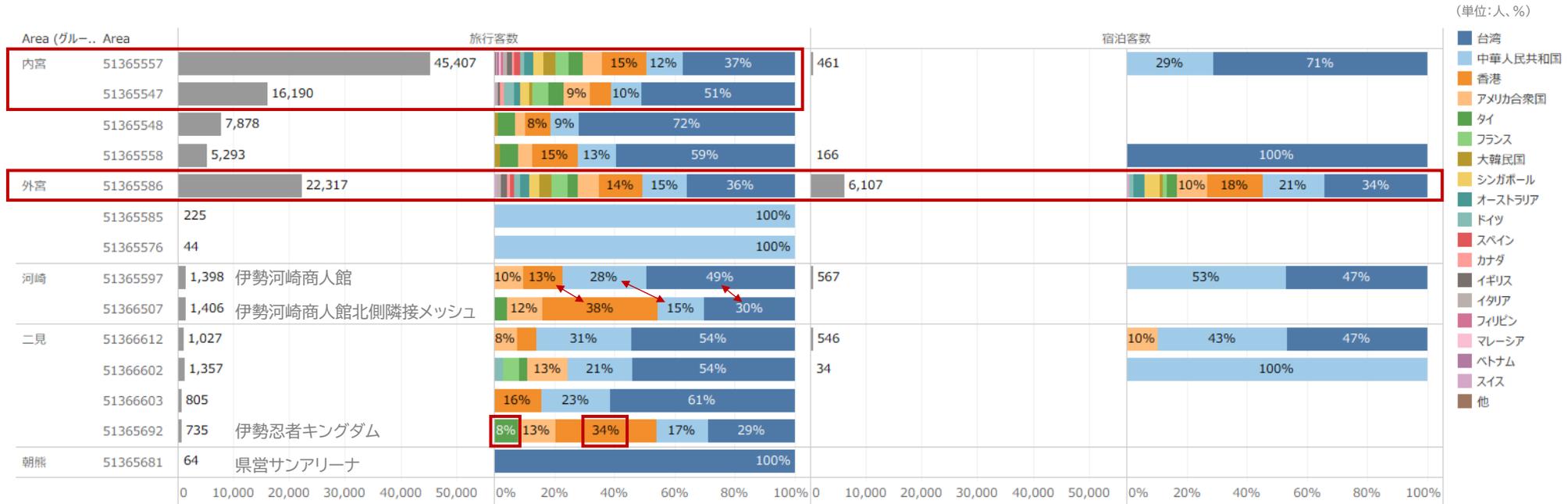
JNTO 『日本の観光統計データ』
<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--inbound--prefecture--ranking>

(参考)台湾人の三重県への訪問率は1.3%で全都道府県中28位

調査結果 5エリア別のインバウンド国別旅行者数



- 内宮と外宮は様々な国・地域が出現した
- 外宮の宿泊客数を見ると、台湾、中国、香港、アメリカの上位4国が約83%を占めた
- 河崎の伊勢河崎商人館とその北側地点では、人数は同程度だが、国・地域構成比に違いが見られた
- 二見の伊勢忍者キングダムは、香港が約34%、タイが約8%と他地点と異なる傾向が見られた
- 朝熊は台湾のみであった



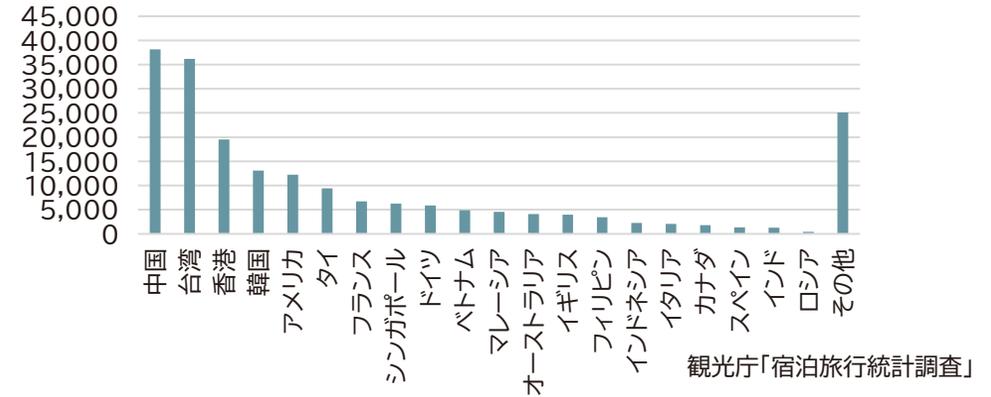
- 対象地域
 - 伊勢市全域
- 対象期間
 - 1年間 2024年 季節単位
 - 春:2024.3~2024.5、夏:2024.6~2024.8、秋:2024.9~2024.11、冬:2024.12~2025.2
 - 季節は気象庁の定義に基づく。春(3~5月)/夏(6~8月)/秋(9~11月)/冬(12~翌2月)
- 時間帯
 - 全日(0時~24時)
- 分析内容
 - 定量分析
 - 伊勢市に来訪した推計人数と属性
 - 分布分析
 - 伊勢市に来訪した人が前後12時間に訪問したエリア(伊勢市様指定の7か国)
- 属性
 - 訪日外国人:総数、国・地域、性別、年代
- 集計方法
 - 上記期間に伊勢市内に位置情報を残した人を1人として集計
- サンプル数
 - 9,477

(参考)Japan Travel Bridge 調査対象国の選定について

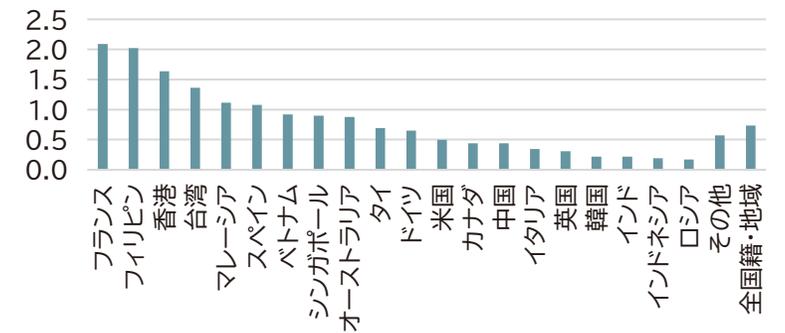


| 地域 | 対象国(候補) | 選定理由 |
|-------|----------------|---|
| 東アジア | 1. 台湾 2. 香港 | 三重県の宿泊者の上位を占める国・地域であり、三重県への訪問率も高い。加えて親日的であり、今後の誘客を考えた際に、政治的なリスクが低い。 |
| 東南アジア | 3. タイ | 東南アジアでは三重県の宿泊者が最も多い国であり、かつ地方への関心も高い傾向にあるため。 |
| 欧米豪 | 4. アメリカ | 東アジアを除いた国の中では、最も三重県や日本全国への来訪が多い。旅行者数や消費額も多く、地域へ与える影響も大きい。 |
| | 5. フランス | 三重県への訪問率が主要国の中でトップであり、ヨーロッパでは三重県の宿泊者が最も多い。加えて県としてもターゲット国の1つに選定しているため。 |
| | 6. イギリス | 全国的に滞在日数が高い傾向にあるヨーロッパ圏において、母語が英語であるため、環境整備などを行う際も比較的容易に実施することができるため。 |
| | 7. オーストラリア | 三重県への来訪率も高く、全国的な傾向として滞在日数や消費額が大きく、ターゲットとして大きな経済効果を見込めるため。 |

三重県の外国人延べ宿泊者数(2024)



三重県の訪問率(%) (2024)









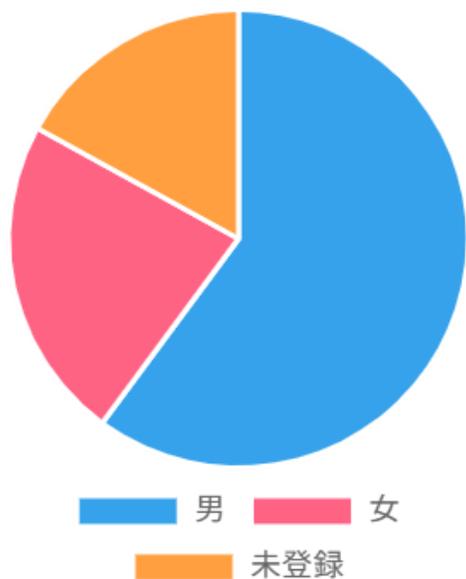




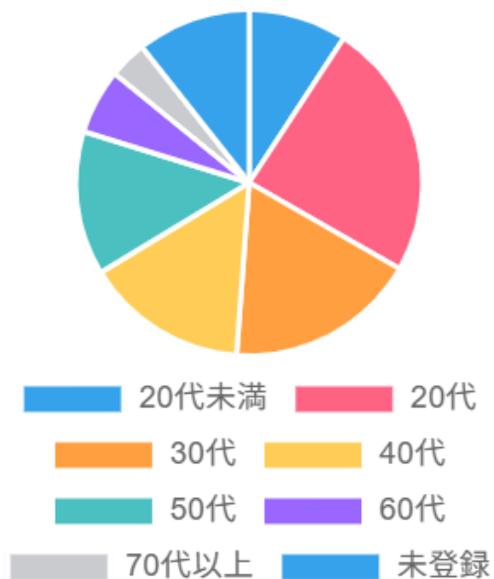
調査結果 インバウンド個人属性(アメリカ_通年)

- 性別は男性が多くなっている
- 年代は20代から50代まで比較的均等になっており、20代未満と60代以上は少ない
- 前後の立ち寄り先では、外宮前観光サービスセンターへの立ち寄りが最も多く、その他にも外宮や内宮周辺の観光案内所や土産物店などへの立ち寄りが多い。
- 伊勢市外では、名張市の観光案内所や大阪市の飲食店が抽出された

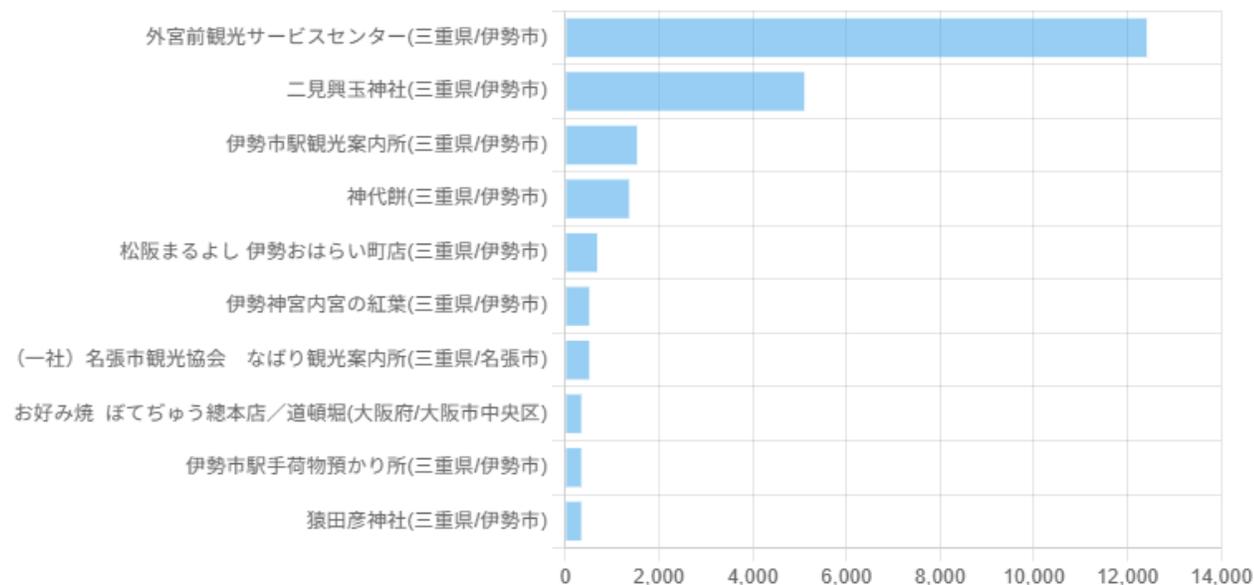
性別



年代

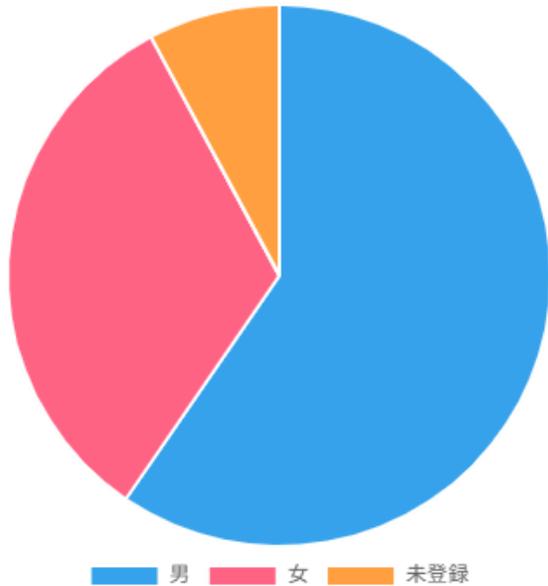


前後の立ち寄り先

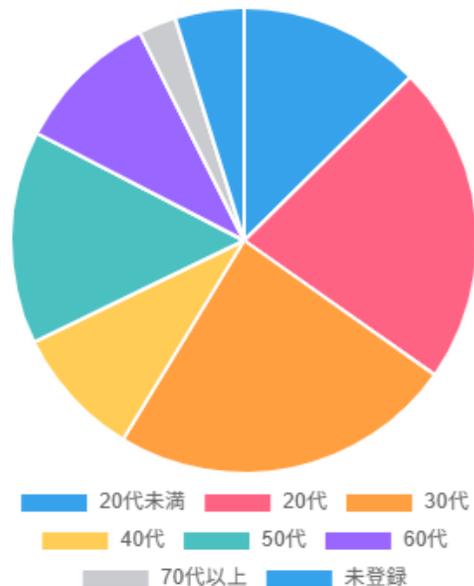


- 性別は男性の割合が多くなっている
- 年代は20代未満から60代まで比較的まんべんなく来訪しているが、40代と60代の割合がやや低い
- 前後の立ち寄り先では、外宮前観光サービスセンターと二見興玉神社の2か所が抽出された。

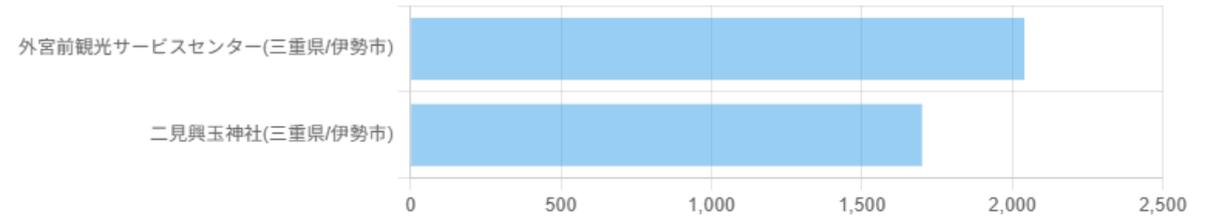
性別



年代

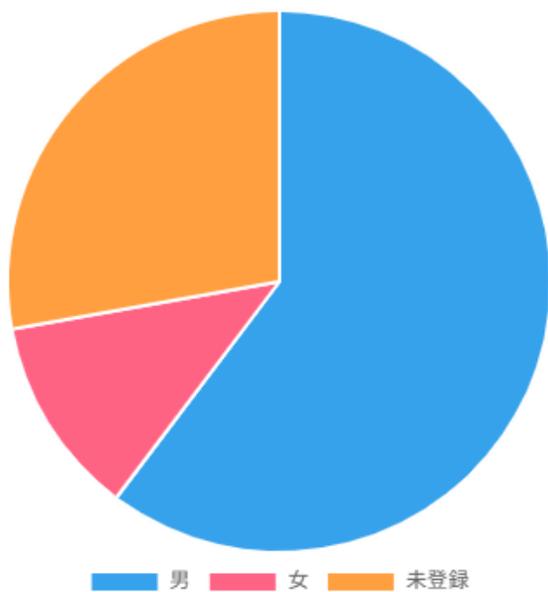


前後の立ち寄り先



- 性別は男性の割合が多くなっている
- 春や秋に比べると女性の割合が低くなっている
- 年代は20代未満、20代、50代が多く、30代と40代はやや少ない
- 60代以上はほとんど来訪していない
- 前後の立ち寄り先では、伊勢市駅前観光案内所をはじめ、外宮や内宮周辺の観光案内所や土産物店などへの立ち寄りが多い。
- 伊勢市外では、名張市の観光案内所や大阪市の飲食店が抽出された

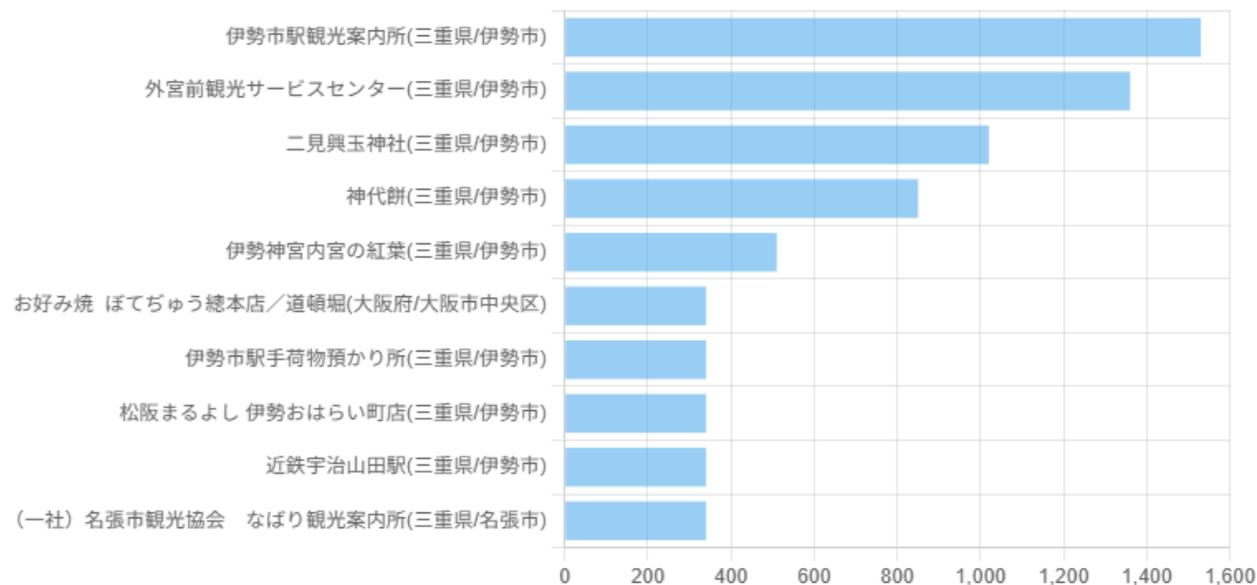
性別



年代

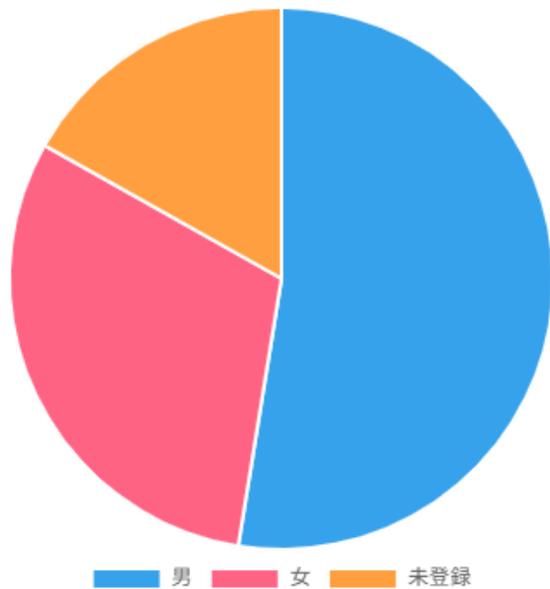


前後の立ち寄り先

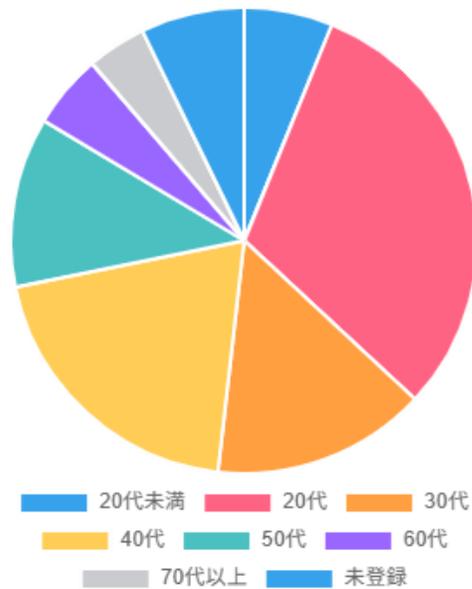


- 性別は男性の割合が多くなっている
- 年代は20代と40代が多く、次いで30代や50代が多い
- 20代未満や60代以上はあまり来訪していない
- 前後の立ち寄り先では、外宮前観光サービスセンター、神代餅、なばり観光案内所が抽出された

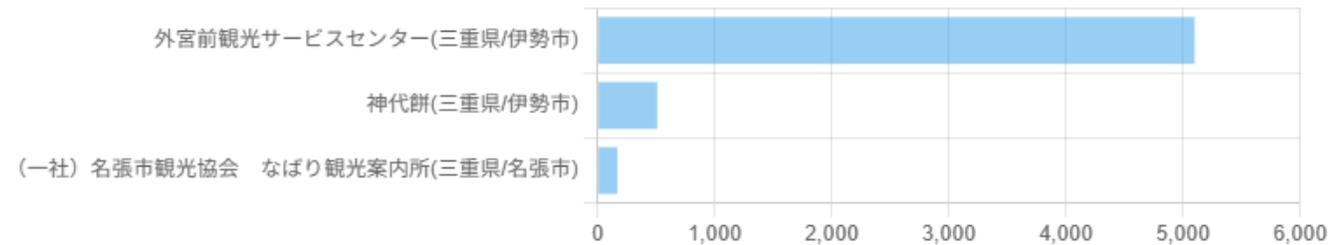
性別



年代

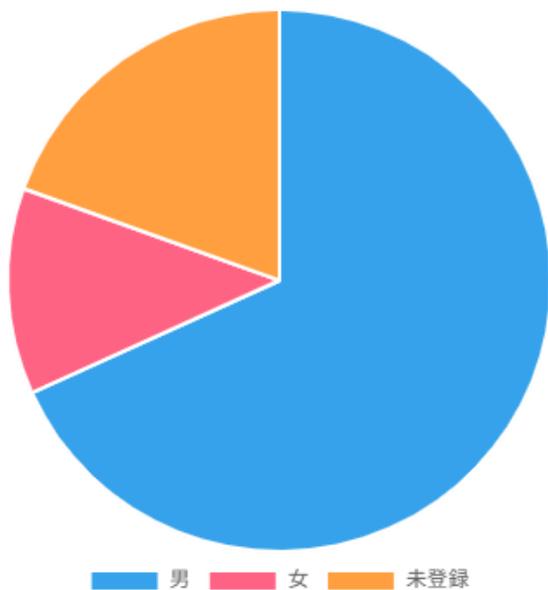


前後の立ち寄り先

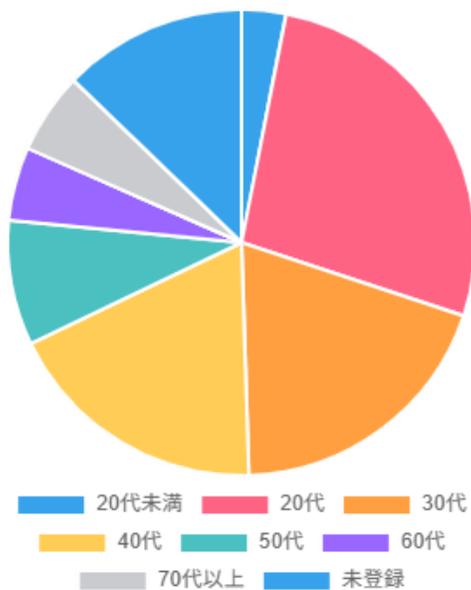


- 性別は男性の割合が多くなっている
- 春や秋に比べると女性の割合が低い
- 年代は20代、30代、40代が多く、次いで50代が多い
- 20代未満や60代以上はあまり来訪していない
- 前後の立ち寄り先では、外宮前観光サービスセンター、二見興玉神社、松阪まるよし伊勢おはらい町店、猿田彦神社、神恩感謝日本太鼓祭が抽出された

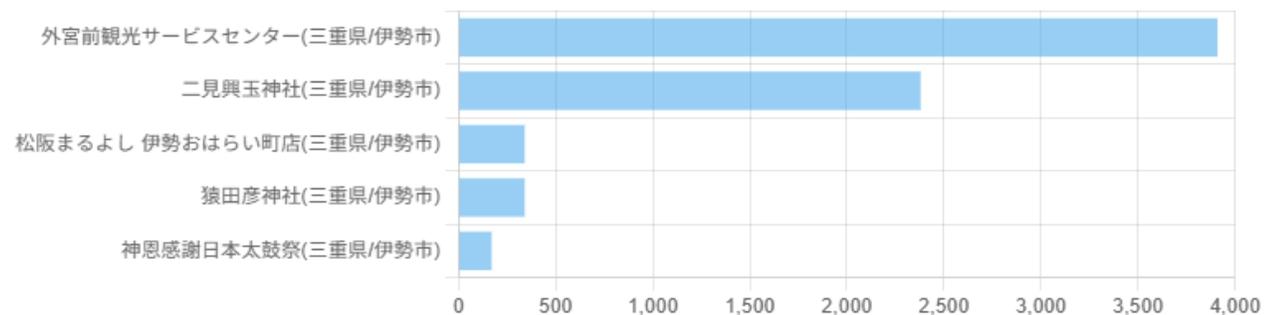
性別



年代



前後の立ち寄り先



資料② 聞き取り調査の項目検討

3 聞き取り調査



- デスクリサーチにて把握した地域の実情や課題等をもとに、新計画策定の基礎となる市内観光関連事業者等の状況を把握するための聞き取り調査を実施する。

聞き取り調査 概要案

調査項目案

- ① 事業者概要(業種/組織体制/事業の背景等)
- ② 主な顧客層(国籍/居住地/性別/年代/前後の行程等)
- ③ 連携している事業者(宿泊事業者/交通事業者/OTA等)
- ④ 業務の繁閑(シーズン/曜日/時間帯)
- ⑤ 現在課題に感じていること
- ⑥ 今後の方向性

調査のポイント

- 商流や旅行者の趣味嗜好等、**定量データからはわからない地域の現状・課題を整理**する
- 定量データと比較することで、**よりミクロな視点での課題**をあぶり出す
- 観光事業者の意見を、新計画に反映させることで、**より具体的で実効性のある計画**を策定する

聞き取り調査の対象者の候補(案)

| | | |
|---------|-------------------------|-------|
| 神宮、寺社仏閣 | 宿泊事業者 | 土産物店 |
| 食事施設 | 体験事業者 | 交通事業者 |
| 他関係事業者 | ※詳細施設等は、市と協議の上、選定し実施します | |

※調査項目案と対象者候補の詳細は別紙にて



感動のそばに、いつも。